

ソフトバレー会場責任者の作業及び監督会議・開始式確認事項

会場責任者の当日作業

- ・受け付け業務
参加料集金 2,000 円、審判割り当ての確認・監督会議の運営
(次項の確認事項を徹底する)
- ・試合結果の集計、決勝トーナメント進出チームの確認及び昼食時間設定。
- ・体育館のカーテンは開けたままで実施するが、会場で大丈夫か確認。
- ・大会前の練習管理(計時しチームへ入場・退場の指示を与える)

監督会議確認事項

- ・開館は8:00です。受け付けを8:25までに済ませて下さい。
- ・8時30分から監督会議を行います。その後、開始式(連絡注意)を行います。
- ・表彰はコート表彰です。準決勝終了後3位コート表彰。決勝戦終了後1位、2位表彰。
- ・予選終了後は本部席で結果を確認して下さい。
- ・基本予選リーグ終了後昼食時間としますが、予選リンクリーグが終了しなくても12時30分前後で30分間の昼食時間を取ります。(昼食時間は会場で設定する)

< 試合進行手順 >

- ・開始式終了後、第1試合のチームが入場し3分~5分間練習の後、試合開始。
試合前のチーム練習は試合をする2チームが同時に行う。
- ・2試合目以降も選手が入場したら3分~5分の練習の後に試合開始。
- ・公式練習は、乱打5本とする。
- ・テクニカルタイムアウト(給水タイム)を適用します。
各セットとも、どちらかのチームが、8点取得時に行う(30秒)。
- ・1セット終了後、コートチェンジを行います。
- ・セット間は1分30秒(およそ)とする。ただし、主審の子どもが時計を持っていないと思うので給水等準備ができしだい次のセットを開始しても良い。(臨機応変に)
- ・試合は、窓とカーテンを開けて行う。
- ・試合は、コートごとに進行する。
- ・主審・得点員・線審は、選手が行う。
- ・主審は、電子ホイッスルを使用する。ただし、下級生で主審に不安がある場合は、保護者が付き添う。
- ・線審は、2名を対角に配置し行う。
- ・6・5・4・3年チームに低学年が入っている場合は、サーブ位置は前からサーブ出来ます。

競技運営の確認事項

- ・ ネットの高さは、5・6年生は2.00m、3・4年生は1.80mとする特別ルールで行う。
- ・ 試合は3セットマッチとし、2セットを先取したチームがその勝者となる。
1つのセットは、先に15点を取ったチームがそのセットの勝者となる。
- ・ 14対14の同点となった場合は、2点リードに達するまで試合は続行される。
- ・ ただし、3セット目に関しては15点で打ち切り。
- ・ 4年生以下の選手は、バトミントンコートのサービスラインからサーブを行ってもよい。
- ・ サービスのネット・インに関するルールは採用しない。
- ・ 試合球は、ビニール製（重さ100g）ソフトバレーボールを使用します。

予選グループ戦における順位決定方法

- ・ 勝率（勝ち数の多いチーム）
- ・ セット率（全試合の得セット数／全試合の失セット数）
- ・ ポイント率（全試合の総得点／全試合の総失点）
- ・ 同率のチームが発生した場合は、キャプテンによる抽選で決定する。

駐車場の注意

※ 駐車場は限りがございますので、各チーム3台以下で
乗り合わせをお願いいたします。